



ちょっといい話

シリーズ⑦

きれいな環境を作れば、  
ゴミは捨てられない

～きれいな町づくりを通して、心をつなげよう～

毎年、ポイ捨てゴミが目立つ名岐バイパスと県道が交差する付近や、JR東海道本線の沿線のゴミ一掃活動が行われています。この活動は、平成20年から円城寺地域の町内会有志の皆さんと道徳のまち笠松の推進会議の委員が協力して行っています。「笠松町をきれいにしたい」という強い願いのもとに、清掃活動は粘り強く続けられてきました。少しずつですが、回収されるゴミの量は年々減ってきています。ゴミの種類は、ペットボトル、空き瓶、食べ物の空き袋、雑誌やタバコの吸い殻などです。時には、テレビやタイヤなどの粗大ゴミも捨てられています。

今年は、10月26日(日)午前8時から円城寺集会所(円城寺1472 名岐バイパス西)に集合し、1時間の清掃活動を計画しています。どなたでも参加していただけますので、町をきれいにしたいという心をお持ちの方は、ぜひ一緒に活動にご参加ください。

また、笠松町内には、地域の清掃活動に自主

的に取り組んでいる企業があります。会社の定休日に、定期的に数人のボランティアが集まって、ゴミ拾いを行っています。「広く社会に貢献する企業でありたい。日頃お世話になっている地域に、お礼をしたい」と地域の清掃活動を始められたそうです。「きれいな環境をつくれば、ゴミは捨てられない」

このような企業が増えて、きれいな笠松町になることを心から願っています。



ゴミ一掃活動

身近で「ちょっといい話」がありましたら、中央公民館へ電話、FAX、郵送、メールなどでご連絡ください。お待ちしております。

☎388-3926 FAX388-3233

メールアドレス:kyouikubunka@town.kasamatsu.lg.jp

かきまつの民話「昔むかし」

田代の龍⑤

ギリギリギリ、ズシーン

八幡さまの方から、大きな音が村中にひびきわたった。どの家も大地震のときのように、はげしくゆれ動いた。

グール、ル、ル。

という、天をつんぎくようなうなり声が聞こえてきた。まもなく、雨まじりのものすごい風が吹いてきた。雨と風は、だんだんはげしくなった。

弥助は、強い雨と風の中で、雨戸につつかえ棒をした。そして今にも倒れそうになる家から、あわてて外へとび出した。

風がすこしおさまって、八幡さまの上空を見上げる

と、  
「あつ、あれは、八幡さまの龍ではないか。龍だ。龍が空へ上って行く。」

「いったい、どうしたということじゃ…」

子どものころ見かけた龍が、体をくねらせ天に上って行くようすを、弥助はぼうぜんとながめていた。ふと、われにかえり、急いで八幡さまへかけつけた。

お宮には、根もとからポツキリとおれた大松が、幹を長々と横たえていた。かたわらの枝の下には、手におのを持ち気絶している勝造の姿があった。

田代を南北に走る県道の西に、白鬚神社という、こじんまりとしたお宮がたっている。このお宮のことを、昔は八幡さまといった。いまは、おばけ松はもう見られない。

(おわり)



田代白鬚神社